

# 中国街道ウォーキング

070609 エコグループ・武庫川

(阪神尼崎駅～甲子園駅)

**武庫川** 全長 65km、流域面積 500km<sup>2</sup>・篠山市、能勢町、三田市、神戸市北区、西宮市、宝塚市、伊丹市、尼崎市の7市1町を流域に持ち県内有数の人口・資産を抱える2級河川である。

「武庫川」の名は下流の右岸が武庫郡であり、武庫郡は日本書紀にある「務古水門(むこみなと)」からとか、浪速から見て「向こう」にあるからとか諸説がある。

**中国街道** 大阪と尼崎、西宮を結ぶ江戸時代の主要街道、大阪高麗橋を起点として神崎を經由して尼崎城の南を抜け、南部の新田開発地域を通り、西宮で旧西国街道に合流する。

**庄下川(しょうげがわ)** 淀川水系猪名川の支流、1級河川。昭和30年代には汚染の進んだ川であったが、下水道整備など行政・市民の努力で改善が進んだ。一部には武庫川の水も流入している。

**尼崎城** 元和4(1618)年、譜代大名戸田氏鉄(5万石)が築城。海に面して美しい姿を見せていたので琴浦城といった。後に青山氏、松平氏が治めた。

**高潮被害標識** 昭和9年室戸台風、昭和25年ジェーン台風時の高潮被害の水位標識が尼崎中央公園にある。

**寺町** 尼崎築城と同時に城の西側に寺を集め寺町を作った。現在は11ヶ寺が残る。文化財の多い本興寺、長遠寺、秀吉伝説の残る広徳寺などがある。

**秀吉伝説** 広徳寺には秀吉伝説が残る。本能寺の変のとき中国から急ぎ京に戻る途中、兵とはぐれ明智方に追われ広徳寺に逃げこみ僧に化けて難を免れた、と。

**貴布禰神社** 祭神は高神(たかおかみ)で雨乞いの神様、京都貴船神社と同じ。尼崎城主の代々御祈願所となる。

**尼崎戒神社** 阪神線の北にある。倉持戒大宮とも言う、この辺りが海岸線の証。

**出屋敷** このあたりは一面「尼いも」の畑、後町人の町場となる。終戦後は闇市として栄え、今は三和商店街となる。竹谷小学校は草競馬場だった。

**中国街道の道標** 中国街道が西に曲る所に弘化元年の道標がある。

**蓬川(よもがわ)と蓬川の渡し** 武庫川水系の2級河川。川辺郡と武庫郡の境、明治40年まで渡しがあった。東岸は中山道、西岸は甲山道の参詣道。

**琴浦神社** 嵯峨天皇皇子源融公が祭神。この浜から潮水をを運び塩を作った。

**子安地藏尊** 漂着したお地藏さんを祀る、木造の地藏尊は珍しい。

**尼崎競艇場(センタープール)** ジェーンた風の災害復旧費に当てるため、大庄湿地帯に競艇場を誘致して完成したのがセンタープールである。

**大庄小学校** 一部にゴシック建築が見られる。

**大庄村道路元標** 大庄小学校内にある。大正時代に各村に設置された。

**旧大庄村役場(大庄公民館)** 昭和13(1938)年大庄村役場として建設、村野藤吾の設計でモダニズム溢れる建築。現在は大庄公民館。

**雉ヶ坂伝承地** 本能寺の変の時秀吉が中国攻めから京に戻るとき、ここに至り、雉が飛び立つを見て伏兵ありと進路を変えたという。

**西素盞鳴神社** 祭神は素盞鳴尊、尼崎の武庫川沿いにすさのお神社が10社。

**楠靈神社** 樹齢200年を越すクスノキの大木がご神体。

**西新田の渡し(小松の渡し)** 尼崎の西新田と西宮の小松を結ぶ渡し。

**潮止堰** 塩水の遡上を防ぎ付近の地下水への塩分侵入を防止するために平成4(1992)年に設置された。生物環境、治水上の問題が指摘されている。

**旧武庫川線** 戦時中軍需工場のあった鳴尾浜と西ノ宮駅を結ぶ国鉄線、戦後廃止され、阪神電車が一部を譲り受け甲子園駅と武庫川団地駅とを結ぶ。

**岡太神社** この地区を開拓した岡司氏が廣田神社のお告げにより建立したことから「おかしの宮」ともいう。

**歯神さん** 秀吉が中国返りでここに来たとき敵将が組み伏し首を討とうとした時、口にくわえた刀を歯が悪く取り落とし失敗した。この将を祀る。歯神さんといわれる。

**尼崎領界碑** 岡太神社境内に尼崎領の標石がある。

**岩見重太郎伝説と一時上臈** 岩見重太郎が女装して長持ちの中に隠れてヒビを退治した伝説に因み、女装した男性がお供えを備えるしきたりが残っている。

**鳴尾一本松** 平安時代から歌に詠まれた鳴尾の一本松は樹齢千年に及ぶといわれ朝日があたるとその影は須磨の一の谷まで、夕日が当たると奈良県境の暗がり峠まで達したという。現在は5代目の松。

**鳴尾八幡神社** 鳴尾地区の総鎮守、砂浜大神、琴比羅神などを祭り海岸にあったことがうかがえる。

**浄願寺** 天正20(1592)年に水争いの結果処刑された鳴尾村の村人の墓と碑(北郷開樋殉難者之碑)がある。近くの八つ松公園に義民顕彰碑がある。

**枝川跡** 武庫川の支川枝川、申川は国道2号線建設と武庫川改修の費用捻出のため廃川とされ、阪神電車に払い下げられ、住宅地、スポーツレクリエーション施設を開発した。甲子園球場、旧阪神パークなどもその一つ。

**鳴尾義民碑** 天正年間の水争いで処刑された村人を思う後世の人が用水の出口のあった北郷公園に義民碑を建立した。

**六石の渡し** 中国街道が枝川を渡る地点に六石の渡しがあった。

**甲子園球場** 甲子園球場は大正13(1924)年、枝川と申川の分岐近くに建設された。この年が干支の甲子(きのえね)に当たるため甲子園と命名された。甲子園球場と甲子園駅間の東西にはかつての堤防跡の松並木が残る。

**甲子園素盞鳴神社** 素盞鳴尊を祀る、枝川と申川の三角州にあった。阪神タイガース神社として有名。